

## 教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和2年1月22日(水) 午後2時30分～午後3時30分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君      2番 井上 靖史君  
3番 山本 香織君      4番 沼田 芳美君  
5番 村上 恵宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成      次長兼教育総務課長 岸 弘美  
教育指導課長 操上 俊樹      幼児教育課長 稲葉 祐人  
生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久      主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

**教育長**：ただ今から伊東市教育委員会1月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

**教育長**：それでは議事に入る。教育長報告を行う。1月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

- 1 2月19日 放課後児童クラブ訪問 (宇佐美小・西小・旭小・大池小)
- 20日 放課後児童クラブ訪問 (東小・南小・富戸小・八幡野小)、  
江戸城石垣石丁場跡保存活用委員会
- 22日 伊東かるた大会
- 23日 劇団「風」DVD 寄贈
- 24日 教育委員任命式(沼田委員)、幼稚園園長会、保育園長会要望
- 25日 県教育委員会訪問
- 27日 政策会議、市長による年末庁舎巡回同行、伊東市合唱団訪問、

伊東文化協会来庁

- 1月 6日 仕事始め式、新春合同賀詞交換会、政策会議、  
青年会議所来庁
- 7日 保育園訪問(広野・荻・八幡野・富戸・つくし・小規模えん)
- 8日 保育園訪問(川奈・富士見・なぎさ・湯川・玖須美・宇佐美)
- 9日 伊東市校長会
- 10日 給食センター訪問
- 11日 成人式リハーサル
- 12日 令和2年伊東市成人式
- 13日 消防出初式
- 15日 保育園長・副園長面接、JA あいら伊豆みかん寄贈
- 16日 校長人事個々面談
- 17日 伊東保護司会懇談会
- 19日 第54回オレンジビーチマラソン大会
- 20日 幼稚園園長面接
- 21日 幼稚園教頭面接
- 22日 教育委員会定例会

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**教育長**：それでは、各委員からの報告をお願いします。

**委員**：成人式に出席した。とても穏やかで特に問題もなく良かった。ボーイスカウトやガールスカウトの人数が少なくなったように感じた。少年少女合唱団の合唱が盛り上げてくれて歌の力を感じた。

**委員**：非常に和やかに式ができていた。実行委員が頑張っているものを壊そう

とは思わないのだろう。新成人の地域を盛り上げていきたいという思いを感じた。

**委員**：昨年に比べて静かで落ち着いた成人式だったように思う。奇抜な格好の新成人もいたが、式中には目立とうとする様子もなく、自分たちで成人式を楽しんでいるように感じた。保護者が多く参加していて、とても嬉しそうだった。時代も変わり、子どもの人数も減少したためかと思うが、家族で参加できる成人式になったことは良いことだと思う。

**委員**：式が始まったら騒ぐこともなく落ち着いた様子だった。行政や大人が用意したものにただ出席するのではなく、自分たちが作っている、自分たちが参加しているという意識になったのだろう。中学校の校歌や実行委員が選んだ歌を歌うことはとても良いと思う。

**教育長**：落ち着いた成人式であった。生涯学習課の担当者が実行委員と良く話し合い、近くで見守り支援していた。こういった影の支えや生涯学習課の支えがあつての成人式であったと思う。教育委員会や関係団体が一体となって実行できたので良かった。来年度への課題もあると思うが、反省点は今後活かしていきたい。

**教育長**：それでは、議題に入る。議決事項・報告事項はないため、その他「各課報告」を議題とする。

**岸次長兼教育総務課長**：教育総務課から2点報告を行う。1点目は、就学援助の新規認定について報告を行う。学校に通っている家庭の中で、経済的な理由で必要な支援を申請されている方に対し、入学準備費や給食費の援助を行う制度である。1月23日に認定を行う。来年度4月入学者を対象としており、現時点で申請者は442人、そのうち新規申請者が77人である。去年は377人であり、年々利用者が増えてきている。

2点目は、小学校の電子黒板整備事業の進捗状況について報告する。令和元年度12月補正にて、競輪事業の収益を財源とした8千万円を予算とし、小学校全普通教室に電子黒板を整備する。現在、教職員も含め様々な業者のデモンストレーションを受けたり学校の要望を聞いたりしている段階である。準備が簡単で授業中の操作が簡単なもの、全ての学校で同じ仕様での導入を検討している。

**操上教育指導課長**：教育指導課から生徒指導について12月の状況を報告する。問題行動について、生徒間暴力やその他不健全非行の報告がある。小学校6年生の1つの学級において落ち着かない状況があり、男子数名の問題行動の報告が繰り返し上がってきている。保護者会を開いたり指導主事が対応したりしているが、すぐに中学校に上がる学年なので、この子供たちのためにも軌道修正したい。学校や先生に対してマイナスのイメージを持った状態で中学校に上げることはしたくないと思う。中学校では、わいせつ行為の報告があった。保護者を含めて相談・指導を行っているが、家庭環境の複雑化もあり難しい点はある。いじめについては、大きな報告はない。細かいものも見逃さないために、認知として報告を上げていくことや校内で共有すること等きめ細かい指導は必要だと思っている。不登校については、中学校で83人となっている。内訳としては、小学校から継続が29人、小学校では傾向はなく中学校からが18人、小学校から傾向が見られており中学校からが36人である。小学校と中学校の繋がり、情報交換をもっと詳しく密にして対応していきたい。発達障害を抱えている子が、小学校までは何とかついていけたが、中学校に進学し不適応を起してしまい、自信を失くしてしまったり人間関係を上手く築けなかったりして不登校になってしまう場合がある。先日、特別支援教育アドバイザーに来てもらい教職員に対して研修会を開催したが、特別支援教育の理念を教職員にもつ

と浸透させなければならないと思っている。

**稲葉幼児教育課長**：幼児教育課から保育園・幼稚園の年末年始の状況について報告する。保育園・幼稚園共に事故は無かった。卒園式に向けてそれぞれの園が頑張っている。保育園では、12月31日から1月3日まで休園とし、それ以外の日には休日保育を行った。年末年始で全園合わせて約170人の利用があり、例年通りであった。

**杉山生涯学習課長**：生涯学習課から2点報告を行う。1点目は、1月12日開催の成人式について報告する。該当者602人に対し469人が出席し、出席率は77.9%となった。「継翔～感謝の気持ち・大切にしたい思いを伝えよう～」というコンセプトのもと、21人の実行委員が昨年8月から5回の会議を重ね準備をしてきた。今年の実行委員は昨年に比べるとややまとまりがなく心配していたが、担当やOB・OGが協力してくれて、自ら式典後の飲酒マナーの注意喚起を立案する等、本番はしっかりとやり切ってくれた。例年、前日リハーサルによって気が締まる部分がある。集められた「二十歳の誓い」を取りまとめ、2月初旬から13日頃まで市役所1階ロビーに展示するので、ぜひ見てもらいたい。また、民法改正により成人年齢が18歳に引き下げられることに伴う成人式の扱いについて、伊東市では現行通り20歳で行うことを1月24日（金）の定例記者会見にて市長が報告する。

2点目は、1月19日開催のオレンジビーチマラソンについて報告する。非常に良い天気で事故も無く、合わせて開催された「I TO MARCHE」と共に盛況に終わった。申込み2,427人に対し、完走2,127人で完走率は87.6%となった。ゲスト走者として下田祐太選手が走り盛り上げてくれた。次年度も多くの方に参加してもらえるように取り組んでいきたい。

**教育長**：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

**委員：**電子黒板について、機器選定にあたっては、これから多く使うであろう若い世代の教員の意見を汲み取ってもらいたい。分かりやすいものにしたいとのことだが、あまりにも機能がシンプル過ぎても、やりたいことができなくなってしまうと意味がない。写真や地図を使って説明したい時はとても便利で、分かりやすくなると思うので楽しみである。普段書く時はどうするのか。

**岸次長兼教育総務課長：**現在導入を考えているのが、キャスター付きで高さを変えられるモニターのようなものである。タッチペンで書いたり、パソコンと接続し利用したりする。

**委員：**従来の黒板を辞めて、電子黒板にする訳ではないのか。各階に設置する程度なのか。大きさはどのくらいか。

**岸次長兼教育総務課長：**全普通教室に設置する。大きさは65インチ程度を予定している。黒板は従来同様に全面的に使用したいという意見が多くあり、プロジェクターだとどうしても黒板に投影する必要があるためモニターにしたいと思っている。

**教育長：**小学校全普通教室に整備することは画期的なことである。先生方に上手く使ってもらえると非常に効果が出るのではないかとと思っている。多少研修は必要になるかと思うが、子どもたちにとって良い使い方を示したい。

**委員：**オレンジビーチマラソンについて、CVAで完走後の感想を聞いている場面を観た。景色を見ながら走れると言っており、オレンジビーチならではの爽やかだと感じた。これから先も盛り上げてほしい。

**委員：**オレンジビーチマラソンについて、今年で54回目となり、長く続いていることは素晴らしいと思う。2,000人を超す参加者がおり、全国各地から参加してくれている。また、「I TO MARCHE」も日程を合わせて開催できたことは良かったと思う。伊東をPRできる良い機会となったのではないか。

前日の天気が悪く、担当の生涯学習課は準備から片付けまで本当に大変だったかと思う。

**杉山生涯学習課長**：悪天候により準備が前日にできず、生涯学習課職員は当日の明け方から作業をした。無事開催できて良かった。「I TO MARCHE」は産業課が担当しており、通常だと第一日曜日に開催しているが、今回は調整して合わせてくれた。

**教育長**：ICT 化について、小中学校は整備が進んでいくが、保育園・幼稚園も今後整備していくべきだと感じる。保育園訪問の際に現状を見たが、公立保育園では各園にパソコンが1台しかない。保育士が個人のパソコンを持ち込んで作業をしている状況があった。

**稲葉幼児教育課長**：パソコン環境を整えることができておらず、先生方には不便をかけてしまっている。パソコンを使用する事務を行う際に順番待ちになってしまい効率面でも良くない。幼児教育課で整備している1台に加え、小中学校にてリースアウトとなったパソコンを導入しているが、数年経つと故障やバージョンが合わなくなってしまう等の不具合が出てくる。一気に改善することは難しいが、徐々にでも改善していきたい。データ化しておらず手書きで行っている業務も多いため、本来の保育業務に時間をかけられるように、事務にかける時間を減らせるようにしなくてはいけないと感じている。

**委員**：インターネットで見たが、どこかの私立保育園で先生方がタブレットを利用し、子どもたちの様子や保護者への連絡事項を記録・管理しているとのことだった。記録した事項を保護者にもメールで送ることができるようである。伊東市では保護者との連絡を毎日連絡帳に手書きしているのではないか。先生たちの事務が少しでも楽になれば良いと思う。

**稲葉幼児教育課長**：民間園には補助金の制度もあり、可能な部分もあると思う。

パソコンの導入等、段階的にはなってしまうと思うが、現場の先生方の意見も取り入れながら進めていきたい。

**委員**：不登校について、発達障害を持つ子が中学校で不登校になってしまうケースがあるとのことだが、中学校に通級指導教室がないことも影響しているのか。

**操上教育指導課長**：杉の子のような通級指導教室が中学校にもあることによって、人間関係力やコミュニケーション能力は上がるのではないかと思う。不登校が減るとは断言できないが、良い影響は出るのではないかと考えている。

**教育長**：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

**教育長**：今後の日程について確認する。

2月の定例会については、2月17日（月）午後2時30分から

3月の定例会については、3月17日（火）午後2時30分からを予定している。

**教育長**：以上で伊東市教育委員会1月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃